

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

<b>1 建物概要</b>		BEE	<b>1.6</b>	BEEランク	<b>A</b>
建物名称	ミッドマークス円山 桜の邸	<b>総合評価</b> ★★★★★			
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,350.30 m <sup>2</sup>				

<b>2 重点項目への取り組み</b>		<b>レーダーチャート</b>
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b> ★★★★★	<p>この建物は特に <b>省エネルギー性能</b> が優れています</p>
	<b>省資源等</b> ★★★★★	
	<b>緑化</b> ★★★★★	
	<b>雪処理</b> ★★★★★	

<b>3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア</b>					
<b>A 省エネルギー</b>		合計 22点 / 24点			
Q1 温熱環境	スコア	0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア	6.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	9.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.0
<b>B 省資源等</b>		合計 16点 / 23点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	2.0
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	3.0
<b>C 緑化</b>		合計 10点 / 16点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	5.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0			
<b>D 雪処理</b>		合計 2点 / 3点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0

<b>4 設計上の配慮事項</b>		
<b>A 省エネルギー</b>		
・低炭素建築物新築等計画認定を取得し、日本住宅性能表示基準の一次エネルギー消費量等級5を満たす程、省エネルギー対策を充実させている。 ・効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。		
<b>B 省資源等</b>	<b>C 緑化</b>	<b>D 雪処理</b>
・乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別を比較的容易にしている。 ・ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。 ・地球温暖化対策の取組みによりLCCO <sub>2</sub> 排出率が72%となっている。	・基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。	・敷地内車路・通路をロードヒーティングとし、冬季間の除排雪作業の軽減に努めています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される